



■ 事業本部の方針

世界人口の増加とともに、一般消費財の輸送需要は中長期的に伸び続けるという見通しです。一方で、2023年秋から続く新造船の竣工ラッシュが2025,6年まで継続する見込みであり、船腹供給過多となる可能性もあります。ただし、コロナ禍中に進まなかった解撤が環境規制の強化に合わせて加速することで、需給バランスは整ってくと予測します。

合従連衡によって船社の数が減り、アライアンス内の規律が働きやすくなったため、以前のように赤字覚悟で運航させるようなことはなくなりました。また、各コンテナ船社は、減速運航をはじめとする効率運航の取り組みも強化しています。

こうした環境を踏まえ、Ocean Network Express Pte. Ltd.(以下、ONE)では、2024年3月に発表した中期経営計画「ONE2030」に則り、世界トップクラスの収益力を背景に、運航規模300万TEUレベルへのスケールアップを目指すほか、需要を着実に捉えるグローバルサービスの確立と、脱炭素化へ向けた投資を加速させ、よりサステナブルな成長を目指します。成長投資を優先しつつも、各年の内部留保の状況を踏まえ、機動的な株主還元も実施し、バランスシートの最適化に取り組んでいきます。

船社別運航船腹量(上位15社)

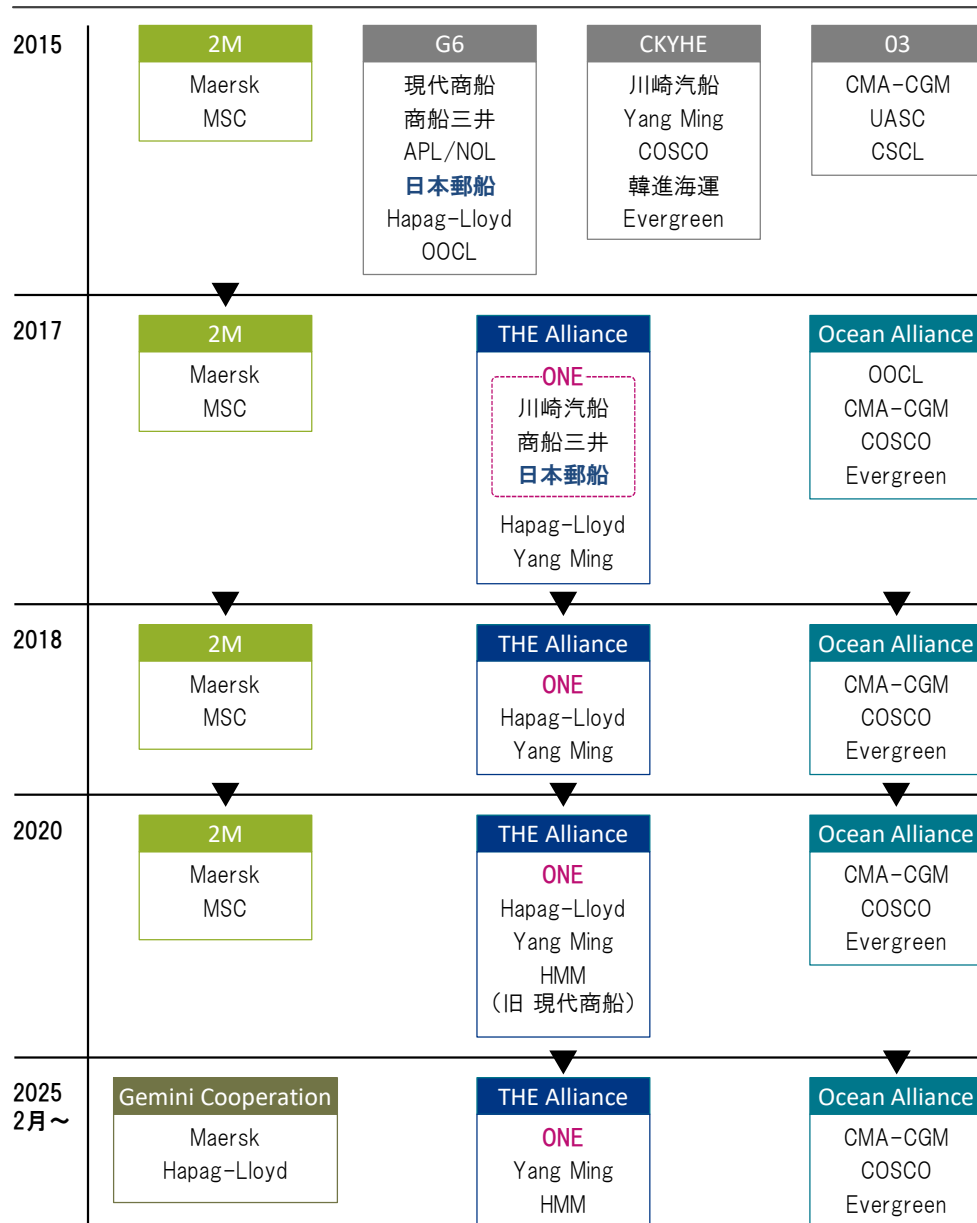
会社名		2024年4月末時点			
		順位	隻数	TEU	シェア
MSC	スイス	1	803	5,796,174	20.1%
Maersk	デンマーク	2	689	4,171,570	14.5%
CMA CGM	フランス	3	605	3,659,999	12.7%
COSCO	中国	4	429	3,050,482	10.6%
Hapag-Lloyd	ドイツ	5	279	2,057,261	7.1%
ONE	シンガポール	6	231	1,828,926	6.3%
Evergreen	台湾	7	217	1,639,688	5.7%
HMM	韓国	8	75	823,899	2.9%
Yang Ming	台湾	9	96	722,850	2.5%
ZIM	イスラエル	10	131	701,598	2.4%
Wan Hai	台湾	11	140	556,569	1.9%
PIL	シンガポール	12	87	315,017	1.1%
SITC	中国	13	107	165,216	0.6%
X-Press Feeders	シンガポール	14	86	162,548	0.6%
KMTC	韓国	15	63	152,748	0.5%
上位15社 合計		-	4,038	25,804,545	89.5%
その他		-	1,947	3,031,828	10.5%
合計			5,985	28,836,373	100.0%

出所:MDS、S&P Globalより日本郵船調査グループにて作成

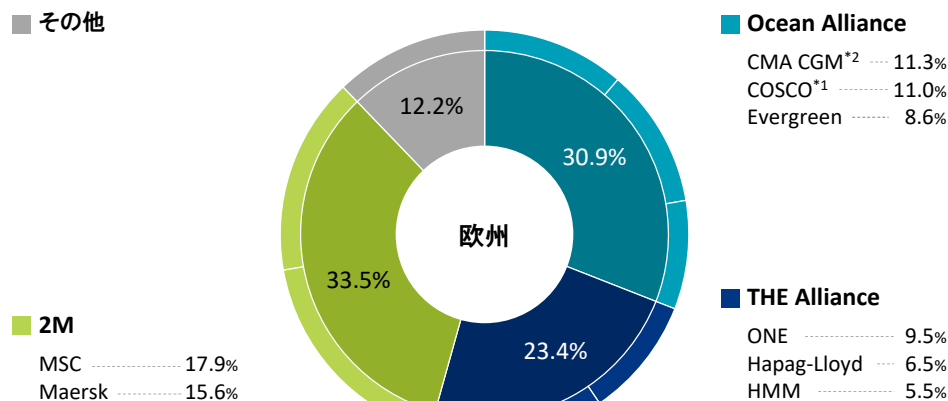
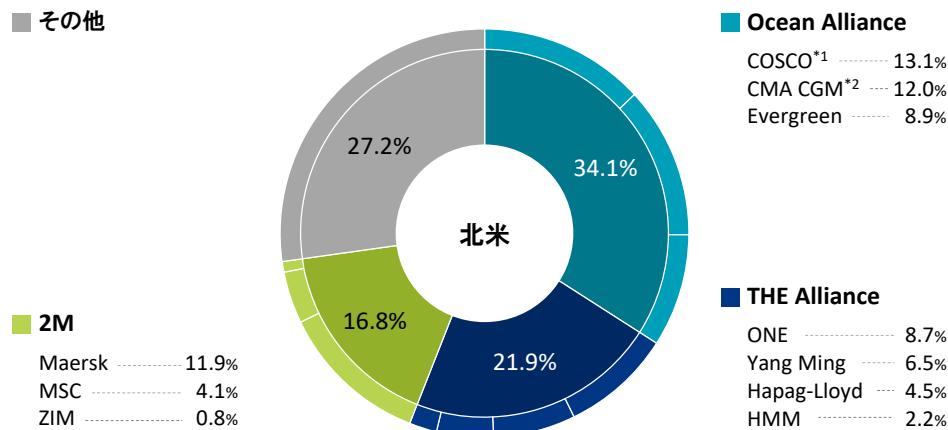
船社別運航船舶数(船型別)

3,000TEU未満		3,000~4,999TEU		5,000~7,999TEU		8,000~13,999TEU		14,000~17,999TEU		18,000~19,999TEU		20,000TEU以上	
隻数	TEU	隻数	TEU	隻数	TEU	隻数	TEU	隻数	TEU	隻数	TEU	隻数	TEU
256	492,266	122	498,216	111	671,623	188	1,866,945	76	1,163,092	20	385,920	30	718,112
225	480,775	172	696,628	98	611,714	133	1,299,761	30	482,284	20	374,160	11	226,248
244	441,508	86	340,608	92	569,641	119	1,216,812	52	820,568	0	0	12	270,862
115	198,024	97	417,446	61	339,578	103	1,078,417	16	228,932	6	114,183	31	673,902
61	139,412	62	253,582	38	238,896	97	1,046,576	11	164,923	6	119,220	4	94,652
50	104,354	44	195,584	33	212,444	65	657,464	27	393,220	0	0	12	265,860
95	198,333	4	13,855	27	169,436	61	654,168	8	117,946	0	0	22	485,950
9	17,215	8	37,390	15	91,506	23	262,860	8	128,080	0	0	12	286,848
31	64,618	7	31,814	15	91,811	23	252,317	20	282,290	0	0	0	0
47	85,558	31	131,936	25	157,374	18	175,862	10	150,868	0	0	0	0
67	136,542	48	174,281	12	74,348	13	171,398	0	0	0	0	0	0
40	53,054	32	126,937	7	45,212	8	89,814	0	0	0	0	0	0
107	165,216	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
72	91,943	8	31,210	6	39,395	0	0	0	0	0	0	0	0
50	81,997	6	25,868	6	36,343	1	8,540	0	0	0	0	0	0
1,469	2,750,815	727	2,975,355	546	3,349,321	852	8,780,934	258	3,932,203	52	993,483	134	3,022,434
1,761	2,109,414	132	534,312	45	281,078	3	33,814	5	73,210	0	0	0	0
3,230	4,860,229	859	3,509,667	591	3,630,399	855	8,814,748	263	4,005,413	52	993,483	134	3,022,434

アライアンスの変遷 (2024年8月時点)



アライアンス・船社別・航路別船腹量及びシェア(北米・欧州)



(注1)OOCLを含む

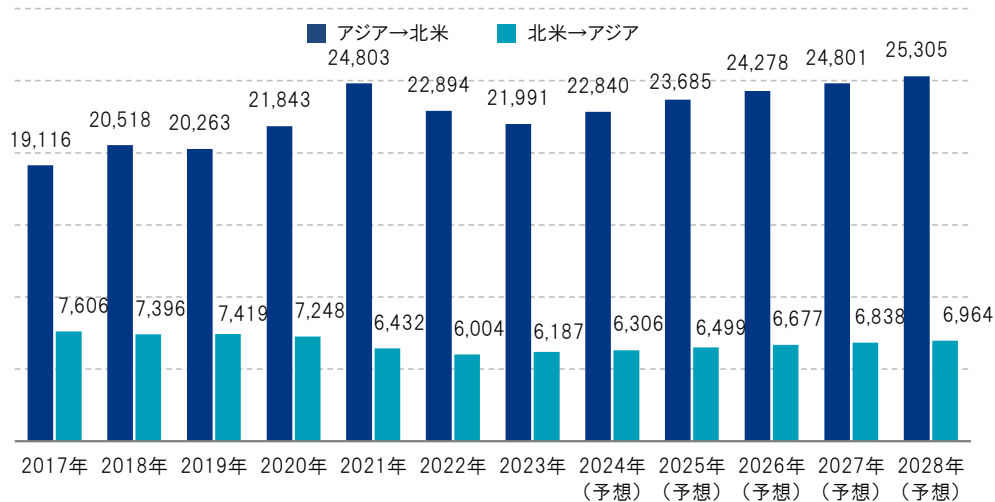
(注2)APLを含む

出所: MDS(2024年4月末時点)より日本郵船調査グループにて作成

コンテナ荷動き

(1,000TEU)

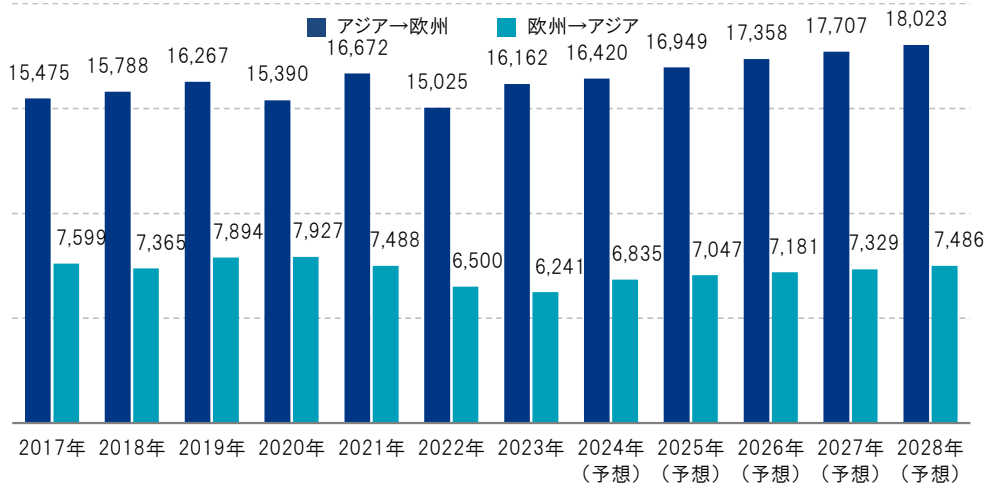
アジア↔北米荷動き



出所: Drewry Maritime Research Container Forecaster Quarter 1・Mar 2024を参考に日本郵船にて作成

(1,000TEU)

アジア↔欧州荷動き

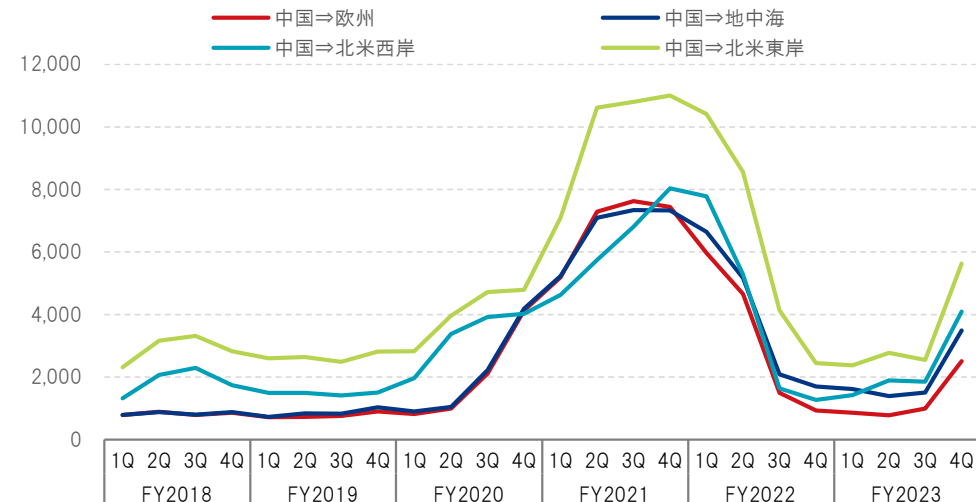


出所: Drewry Maritime Research Container Forecaster Quarter 1・Mar 2024を参考に日本郵船にて作成

運賃推移

(\$/TEU)

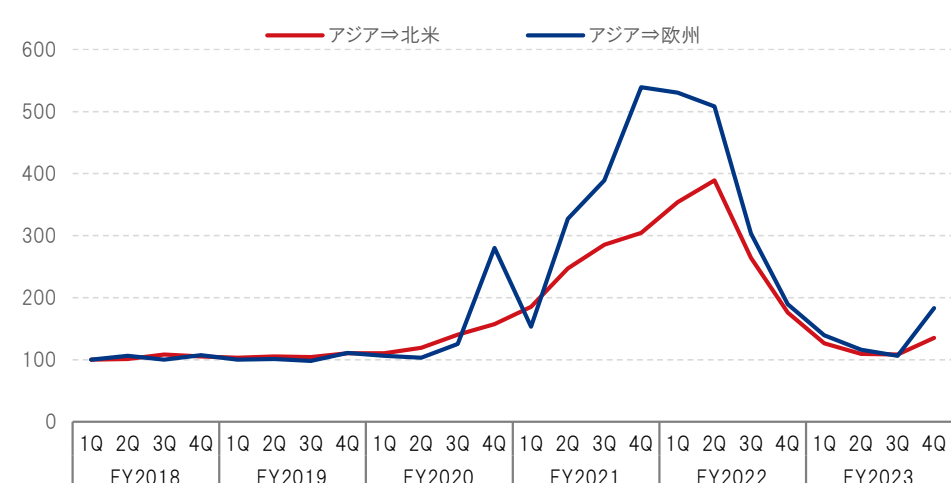
SCFI



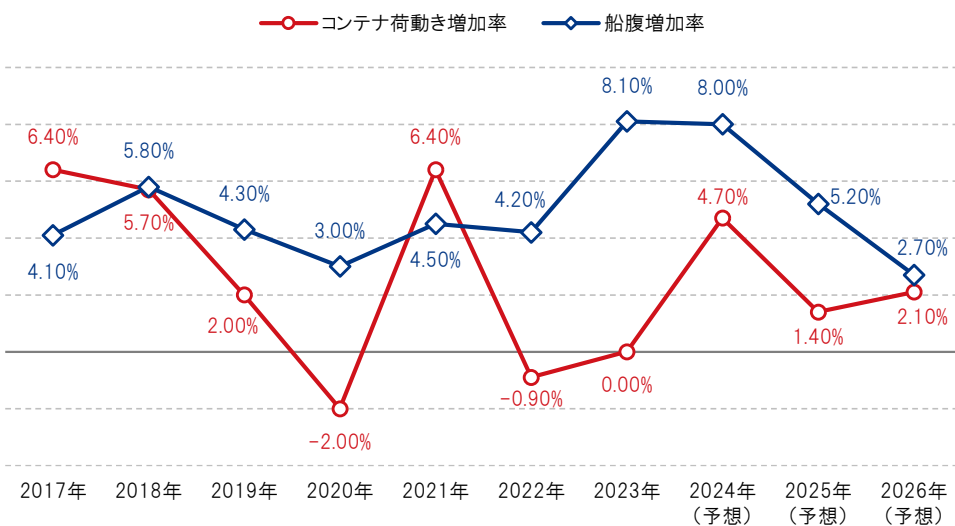
出所: Shanghai Containerized Freight Index

(FY2018 1Q=100)

ONE運賃指数

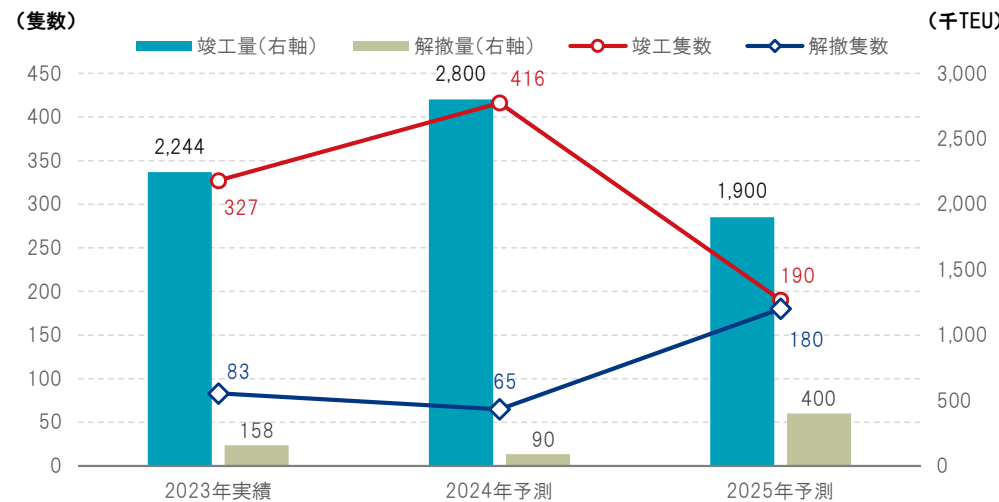


荷動き量・船腹量伸び率推移(対前年比増減率)



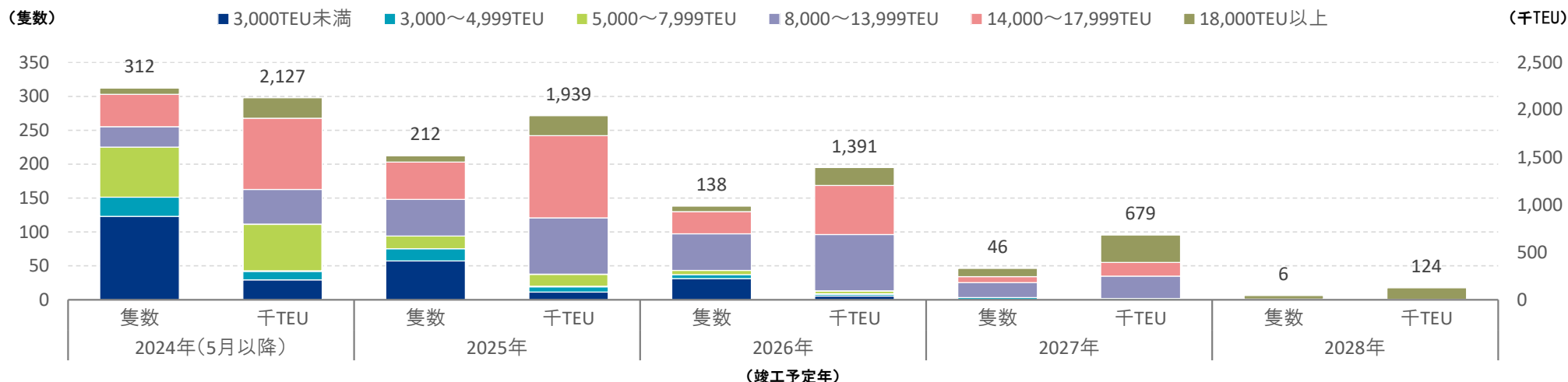
出所: Drewry Maritime Research Container Forecaster Quarter 2・June 2024より日本郵船にて作成

竣工・解撤実績(2024年7月末時点)



出所: MDS、S&P Global、Drewry、Clarksons Research、各種報道より日本郵船調査グループにて作成

2024年4月末時点発注残



注: 竣工年は成約時点の予定

出所: MDS、S&P Global、各種報道より日本郵船調査グループにて作成

ONE 2030

ONEの成長戦略：5つの戦略の柱

Ocean Network Express Pte. Ltd.では、
2024年3月に中期経営計画「ONE2030」を発表

- コンテナ事業の成長を可能とするボラティリティの低い安定した事業ポートフォリオを構築
- グリーン、デジタル、タレント、財務、グローバルの5つの柱となる戦略によって持続可能な成長を目指す



主な計画・目標

投資計画

- 2030年度までに300万TEUの運航規模を目指す
- 2024～30年において、コンテナ船本業に\$25Bil以上事業拡張に最大\$10Bilを投資

脱炭素化計画

- 2030年までに08年比でスコープ1のGHG排出量をTEU km当り70%削減
- 2050年までにスコープ1～3のGHG排出量実質ゼロを達成

利益・財務計画

- 2030年度に\$3.8Bilの利益達成
- 中長期のROE10%以上
- 投資資金の調達はレバレッジを活用 (Debt : Equity=6:4程度)
- Net Profitに対する配当性向30%に加え、24～26年に\$3Bilの特別配当



ONE2030(24年3月発表)の詳細は右記リンクよりご参照ください。

説明会資料

説明会動画